

2015年
入試用

学校説明会レポート



春日部共栄中学校・高等学校

- 日時 2014年7月4日(金) 10時30分~12時45分
- 所在地 埼玉県春日部市
- 会場 ふれあいキューブ
- 対象 塾
- 出席者数 約200名(中学は約80名)
- 配付資料 2015年学校案内、2015年募集要項、説明会資料、リーフレット、ポスターなど

説明会の概要

<中学>

学校紹介ビデオ

10:30~10:50

- 春日部共栄の1日、授業のようす、活動のようす、学校行事、入試問題の傾向と対策など。

学校概要紹介

校長：宇野先生 10:50~11:10

- 「磨け！『知性・品性・感性・個性』」をさまざまな場面で意識しながら学校運営を行っています。
- 本校の教育ビジョンのひとつが「本物にこだわる」です。著名人などによる講演会を年8回実施しています。すでに100回行っていますが、97回目には茂木健一郎氏に講演をお願いしました。また、今カナダから12名の生徒が来校していて、本校の生徒と交流しています。文学散歩では、東京大学周辺を散策します。このほか、論語の素読や郷土料理体験などを行い、生徒が本物にふれる機会を多く設けています。
- 国際社会で通用する人材を育てるため、プレゼン力・提案力・対案力・英会話力を養成するさまざまなプログラムを設けています。
- 「大学までの人ではなく、大学からの人に」という本校独自の考えを柱にして、生徒には5年後・10年後の自分の理想像を持たせ、大学で何をやりたいのか、大学を卒業した後どうなりたいのかということを常に考えさせるようにしています。同時に、問題解決

能力を身につけさせています。

- 生徒には、「あえて三兎を追え」と言っています。学業・部活動・学校行事の3つのことに若いエネルギーをぶつけ、実りのある充実した学校生活を送ってほしいと思っています。
- 学校は失敗するところ、教室は間違えるところですよ。大切なのは、失敗や間違いから何を学ぶかです。失敗することにより、人前で自分の意見をしっかり伝えられるような人間に育ててほしいと思っています。
- 中高一貫生の2014年の大学合格実績についてふれておきます。卒業生120名中、医学部・医学科と国公立大学への合格者は合計で27名でした。おもな私立大学の合格実績では、早大19名・慶大9名・東京理科大12名などとなっています。
- 学習指導では、より楽しく、より学力の定着を図るために、クラリカ実験教室・ワールドビューなど本校独自の取り組みを行っています。進路指導では、一般入試で合格できる学力の養成を行います。
- 国際教育としては、中3が全員参加し、ホームステイを行う1か月のカナダ語学研修などがありますが、今年からイングリッシュ・サマー・キャンプ(中1)を新たに設けました。
- 次代に向けてということで、IT機器の導入に加え、若手の先生を登用して、活躍してもらおうと思っています。
- 在校生は、男子219名、女子159名で、男女比は58:42です。通学地域は、埼玉県73.0%、東京都14.3%、千葉県11.9%などとなっています。部活加入率は100%です。
- 安全管理には十分に注意を払っています。本校の校庭が発着場になっているドクターヘリの施設も整っています。

グローバルエリートコース コアプログラム

教頭：星先生 11:10~11:30

- グローバルエリートコースは、中学生として必要な語彙力をもとに、文脈をふまえて論理的に考え、適切な結論を導き出す能力である「ロジカル・シンキング」と、中学生個々のこれまでの知識・経験・体験をもとに、与えられた情報を分析し、その情報がほんとうに正しいかどうかを自問自答し、最終的に自分なりの答えを導き出す能力である「クリティカル・シンキング」を身につけさせることによって、グローバル社会をリードする人材育成を目指します。人前ではっきりと自分の意見を述べる、学習内容に関してわからない生徒にはわかる生徒が教えるなど、これまでの授業ではなかったような内容を取り入れています。また、英語を身につけるプログラムも豊富です。
- 入試問題について：国語…漢字の書き取り・説明的文章の読解・文学的文章の読解の3題を出題します。傾向は2014年と変わりません。出題形式は、グローバルエリートコ

ースとグローバルスタンダードコースで同じですが、グローバルスタンダードコースはより基本的な内容を問う問題となっています。算数…大問6題の構成です。1は計算問題、2は小問集合、3は回転体の面積や体積を求める問題、4は数え上げて法則を見つける問題、5はグラフを読み取る問題、6は定義演算の問題です。大問3でグローバルエリートコースでは途中式の部分点があります。グローバルスタンダードコースの問題は答えのみの形式です。理科…大問4題の構成です。グローバルエリートコースでは、1は運動とエネルギー、2は物質と変化、3は生物と環境、4は地球と宇宙で、グローバルスタンダードコースでは、1は時事問題、2は運動とエネルギー、3は物質と変化、4は生物と環境です。グローバルスタンダードコースではより基本的な内容を問う問題が中心となっています。社会…地理・歴史・公民（政治）の3分野からの出題で、配点比率は地理：歴史：公民＝2：2：1です。地理は、日本の地形、気候、農業、工業、都市が出題の中心です。日本の都市や地形の名称は必ず出題します。歴史は、歴史の流れを理解することが重要です。資料や写真を使った問題が多いので、写真や資料によく目を通しておいってください。公民は憲法に関する問題が中心です。グローバルエリートコースでは論述問題などの発展問題が多く、グローバルスタンダードコースでは基礎的な内容となっています。

募集要項について

星先生

- 変更点：3・4回はこれまでグローバルエリートコース・グローバルスタンダードコース別の入試でしたが、総合選抜入試とし、得点によりグローバルエリートコース・グローバルスタンダードコースの合格者を決めます。また、入学手続き納入金を免除するC特待を新設します。入試日程などの変更はありません。

— 休憩（15分間） —

<高校>

学校紹介ビデオ

11：45～12：00

- 共栄生の1日、学校行事、部活動のようすなど。

あいさつ

校長：宇野先生 12：00～12：20

- 本校は今年で開校35年目を迎えます。12年前に中学校を併設し、これまでの教訓を基に、今後も本校独自の教育活動を進めていきます。
- 本校の教育ビジョンは「本物にこだわる」「国際社会で通用する人材に」「大学までの人ではなく、大学からの人」「あえて三兎を追え」「学校は失敗するところ、教室は間違えるところ」です。「本物にこだわる」での講演会は年間8回実施しています。
- 2014年では、医学部・医学科の合格者が増加しました。国公立大学には57名、私立

大学にはのべ 1,142 名が合格しました。理系では、国公立大志向、女子志望者の増加が顕著です。一方、文系では、遠くの国立大より近くの私立大という傾向が強まっています。

- これまで文系・理系とも5教科のカリキュラムでしたが、来年度より3教科型も導入します。講習・講座も数多く設けていますが、受講者の8割以上が第一志望校に合格しています。講習には、東大入試問題攻略講習、早稲田大入試問題攻略講習など独自のものがあり、校内塾では元東大講師による指導もあります。
- 生活指導は、「紳士・淑女たれ」「頭は低く、目は高く。そして心は広く」「よきライバルを持つ」を柱にして展開しています。
- 卒業生は各方面で活躍していますが、「先輩の背中を追い！そして追い越せ！」がモットーです。

2015年入試について

教頭：小南先生 12:20~12:45

- 募集は、選抜コース 100 名、特進コースE系 160 名、特進コースS系 120 名ですが、スライド合格制度を採っていますので、「願書の希望コース」による有利・不利はありません。定員・入試日程とも変更ありません。
- 単願は、第1回単願入試で受験してください。さらに第2回・第3回を受験する場合は、単願希望者として配慮します。併願は、第1回・第2回で有利・不利はありません。第1回・第2回両日受験の場合は、第1回の得点を考慮しながら第2回を判定します。第3回入試を再受験する場合は、15点加点して合否判定を行います。
- 入学手続きは、単願が 1/30 で、併願が公立発表日の翌日までになります。延納手続きは不要です。
- 特待生制度は下記の通りです。
A特待…入学金、施設費、3年間の授業料・維持費免除
B特待…入学金、施設費、1年間の授業料・維持費免除
C特待…入学金、施設費免除
対象は、入試成績上位 10% (A特待 1%、B特待 3%、C特待 6%) です。

説明会の雰囲気・印象

- 説明される先生が、中学・高校共に校長先生と教頭先生のお二人だけだったことで、全体的にゆとりが感じられる説明会でした。資料はわかりやすくまとめられていて、好感が持てました。

最寄り駅から学校までの距離・時間

- 東武線春日部駅よりスクールバスにて 10 分